

平成29年度シラバス

学番40 新潟県立栃尾高等学校

教科名	芸術	科目名	書道Ⅰ	単位数	2
科目の性質	必修		学年(学級)	1 学年	
使用教科書	「新編 書Ⅰ」(教育出版)		副教材等		

1 学習目標

- ・小・中学校国語科書写の学習を基礎としながら書道の幅広い活動を通して生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。
- ・書に親しむ活動を通して感性を高め、書写能力の向上を図り、自己を主体的に表現するための書道の基礎的な能力を伸ばしていく。
- ・書の美しさを感じとる鑑賞の基礎的な能力を伸ばしていくとともに、書の伝統と文化についての理解を深める。

2 指導の重点

- ・「漢字の書」の学習では、さまざまな書風にふれることによって鑑賞と表現の能力を高め、それらを創作に生かしていく。
- ・「仮名の書」の学習では古典に基づく表現技法を習得し、それらが日本の伝統に立脚していることを理解する。
- ・「漢字仮名交じりの書」の学習では、自らの思いや感動を表す語句を選び、漢字や仮名の古典の学習を生かして芸術的な表現とともに実用的な表現技法も高めていく。
- ・鑑賞の学習では日常生活における書への関心を高めるとともに書の伝統と文化について理解を深める。

3 学習計画

月	学習活動（指導内容）	学習のねらい	時間	評価方法
4	書写から書道へ 基本点画	・中学校までの書写を振り返り 高校芸術科書道との共通性と 相違とを理解し書の世界を知る。	6	授業態度 作品提出 プリント
5 6	漢字の書の学習 楷書の学習（古典臨書） 唐、北魏の楷書 行書の学習（古典臨書） 蘭亭序	・漢字の書体の変遷について学ぶ。 ・各古典の臨書学習により基本的な点画や線質の表し方、運筆法、用筆法を学ぶ。 ・各古典の表現の違いを理解し、その特徴を時代と人物を通して鑑賞する。	14	授業態度 作品提出 感想カード

7 8	競書大会作品制作	・これまでに学習した表現技法を基に創作し公募展に出品する。	6	授業態度 作品提出 感想カード
9 10	漢字かな交じり書の学習 篆刻の学習	・身近な言葉を書くことを通して書道を愛好する心を育て、自己表現について学ぶ。 ・印の制作方法を学び書作品における落款の重要性を知る。	14	授業態度 作品提出 感想カード
11 12 1	刻字の学習	・自書した作品を刻し、金箔や彩色を施して作品に仕上げる。 ・全国コンクールに出品する。	20	授業態度 作品提出 感想カード
2 3	仮名の書の学習 平仮名单体と連綿 変体仮名 古典臨書	・仮名の成立と変遷について学ぶ。 ・仮名の書の筆づかいに慣れ、基本用筆を習得する。 ・仮名独特のリズミカルな運筆を学ぶ。	10	授業態度 作品提出 感想カード

4 課題・提出物等

- ・毎時間の課題に対し、十分練習をした上で清書を提出する。
- ・制作の意図や過程、自己評価等を記入した作品カードを提出する。

5 評価規準と評価方法

観 点	内 容
書道への関心・意欲・態度	・漢字の書、仮名の書の創造的な活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。 ・日常生活の書の効用や、書の伝統や文化に関心を持ち、書のよさや美しさを感じ取り、主体的に鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。
書表現の構想と工夫	・漢字の書や仮名の書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。
創造的な書表現の技能	・創造的な書表現をするために、漢字の書や仮名の書の基礎的な能力を生かし効果的な表現の技能を身につけて表している。

鑑賞の能力	・ 日常生活の書の効用、文字及び書の伝統と文化について広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
* これらの内容を総合的に判断して評価する。	

6 担当者からの一言

- ・ 授業は作品制作を中心におこないますが、自分の作品や他人の作品についてどう思うかなど感想も聞きます。
- ・ 小中学校の書写の授業では学んだことのない用筆法（筆づかい）や新しい表現方法を習得し個性的な創作作品を制作します。